



このQRコードにア
クセスしますと本校
HPをご覧いただけ
ます。

令和7年7月17日
発行責任者
校長 小野 一豊
電話 26-3905

○1学期 ありがとうございました○

72日間の1学期も明日で終了します。子どもたちに大きな事故やけがもなく無事に終業式を迎えるのは、保護者の皆様のご協力あってのことと感謝いたします。本当にありがとうございました。



今年の6・7月は異常な暑さで雨も少なく、子どもたちはプールにたくさん入ることができました。水泳の学習で最も大切なことは「命を守る」ことです。海難事故に遭うということは、めったにありませんが、一生に一度も無いとも言い切れません。そうした時に役立つのが、プールで学習した知識や技能です。

- ・水に顔をつけるのを怖がらない。
 - ・息継ぎができる。
 - ・長時間水面に浮かんでいられる。
 - ・服を着て水に入るハンディについて知っている。
- 等のことは、もしもの場合に命を救うことにつながります。そういう意味でも、昨年より技能が上達したり、着衣水泳の経験をしたりすることはとても大切な経験でした。

15日（火）には、5・6年生が医療センターの見学に行きました。17日（木）には、講師を迎えて福祉の授業を行い、キャリア教育という視点・まちづくりという視点で学びを深めることができました。

◆◆ 校長室より ◆◆

「夏休みにしかできない経験をぜひ！」

夏休み（7/19～8/24）は、全部で37日間になります。ぜひ、普段できない経験をしてほしいなと思います。

私が小学生だった頃、「小学生が自転車で日本一周してきた！」という新聞記事を見て、「自分もやってみたい！」と思ったものです。いまだに、達成できていないのは、「時間がとれない」「経済的理由」「家をそんなに空けられない」…等々、できない理由を先に探しているからかもしれません。

そういう意味で、子ども時代だからこそ・子ども時代にしかできない経験をしてほしいのです。それは、特別にお金をかけなくても遠くでかけなくともいいのです。37日連続で気温と湿度を測って記録するもいいのです。普段37日連続で何かに取り組むなんてことは、なかなかできないものです。そして、立派な自由研究になります。（あくまでも一例です）

子どもですから、電車・バス代は半額です。水戸や仙台あたりだったら、電車で行って日帰りできます。いわき七浜街道を自転車で走破！こうすることだって、普段の土日では、なかなかやらないと思います。また、毎日お弁当を作るなんてどうでしょう。お家の人は、夏休み中も毎日働いているわけですから、お家の人も助かります。そして、内容をお家人と一緒に考えてみてください。親子コミュニケーションにもなります。（お家の方々、相談依頼が来たら「忙しいから後で」と言わないで、一緒に考えてあげてくださいね。）

いろんな経験をして一回りも二回りもたくましくなったみなさんと夏休み明けに会えるのを楽しみにしています。

Have a nice summer vacation!